

庁議記録

日 時 平成30年6月15日（金）

15:30～15:50

場 所 テレビ会議室

【阿部副知事】

それではただいまから、庁議を開催いたします。

早速議事に入りたいと思います。まず、総合政策部から北海道人口減少問題対策本部の議案として、「北海道創生総合戦略の推進状況と今後の取組方向について」説明をお願いいたします。

【小野塚総合政策部長】

総合政策部の小野塚でございます。本日の庁議は、「人口減少問題対策本部」を兼ねて開催しており、総合戦略の推進方向等についてご報告を申し上げまして、全庁で認識の共有を図りますとともに、総合戦略の数値目標・K P Iの一部見直しについて、関係各部局と事務的に調整したものでございますが、本対策本部において、改めて、ご了承をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

はじめに、資料1-1をご覧くださいと思います。これは、総合戦略に基づく、これまでの主な取組と本年度の推進方向についてまとめたものでございます。まず、表紙をおめくりいただき、1ページでは、戦略全体の展開イメージを整理しております。2015年の戦略策定以降、これまで、官民連携による推進体制や基盤となる拠点・機能の構築、先進的な事例の掘り起こしや、モデルとなる取組の創出を図りますとともに、それらの基盤やモデルを活かしながら、具体的な成果につながるよう取り組んできたところでございます。今年度は、こうした地域創生の成果を確かなものとするための、未来への投資、先進事例の全道への波及、持続可能な開発目標SDGsの達成に向けた取組に力を入れていきたいと考えております。道の総合戦略の推進と市町村戦略のサポート強化を両輪として、一層効果的な施策展開を図っていくこととしております。2ページ以降につきましては、重点戦略プロジェクトごとに、これまでの主な取組と本年度の推進方向についてまとめているので、ご確認いただきたいと思います。北海道創生に向けた取組を全庁をあげて力強く推進していくため、各部・各振興局におかれましては、引き続き、政策間の連携や成果を意識しながら、今年度の事業を着実に進めていただきますようお願いいたします。

それから、資料1-2から1-4につきましては、今年度の関連事業あるいは地方創生推進交付金などの活用事業の概要について整理をしているものでございますが、後ほどご覧いただきたいと思います。

続いて、資料1-5をご覧ください。この資料は、総合戦略に登載されている数値目標・K P Iの推進管理表となっております。昨年度末の時点で、進捗率が100%以上となったものなどにつきまして、関係各部局と事前に調整を行い、資料右側に見直し案を記載している。個別の説明は省略させていただきますが、全114項目のうち、進捗率が今回100%以上となったものが31項目、そのうち今回、目標値を上方修正するものは12項目、残り19項目は、毎年度上下動する性質があることなどから、目標値を上回る状況の維持に努めることとし、目標値を据え置くこととしております。このほか、関係部局が所管する分野別計画に連動して数値を見直すものが16項目ございまして、今回、合計で28項目を見直すこととしたいと考えております。

次に資料1-6をご覧くださいと思います。こちらは去る5月31日でございますけれども、知事出席のもとで開催しました北海道創生協議会の概要でございますが、今回は「官民連携・民間投資の呼び込みによるプロジェクトの推進」をテーマとして、アウトドアに特化したDMO、株式会社デスティネーション十勝監査役等を務めていらっしゃる後藤健市さんにゲストスピーカーとして参加をいただきまして議論を行いました。その際の後藤さんの発言要旨、そして、2枚目に、協議会におけます委

員からの主な意見をまとめておりますので、参考にしていただきたいと思います。

説明は以上でございますが、道政の最重要課題である「人口減少・危機突破」に向け、引き続き、全庁横断的に取組を進めるとともに、各振興局においては、局長を中心に、現地に出向かれるなど市町村が抱える課題や二ーズのきめ細かな把握に努め、適切なサポートを行っていただきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。説明は以上でございます。

【阿部副知事】

ありがとうございました。ただいま説明に関しまして、何かご発言等ございますでしょうか。無いようでございますので、ただいま説明のありましたように、創生総合戦略に基づく今年度の推進方向等につきましては、説明のあったとおり決定いたします。次に、経済部から「今夏の節電の取組について」説明をお願いします。

【加藤経済部次長】

経済部です。私から、北海道における、この夏の節電の取組について、説明申し上げます。

資料2をご覧ください。震災以降、電力需給の安定に向け、オール北海道で節電対策に取り組んできたところでございます。この夏は、昨年度に引き続き、国からの節電要請は見送られましたが、安定的な電力需給の確保に向け、地球温暖化対策などの取組とも連携しつつ、無理のない範囲で節電の取組を進めてまいります。

まず、道民への節電の呼びかけについてでございますが、道の広報媒体やブログ・ツイッターを活用するとともに、リーフレットの作成や「ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーン」といった地球温暖化対策の取組とも連携して広く節電・省エネの呼びかけを行ってまいります。

次に、関係機関との連携についてでございますが、北海道地域電力需給連絡会を通じて、情報提供、情報交換を行ってまいります。また、各振興局の皆さまには、地域の連絡会の構成員間での情報共有を進めるよう御協力をお願いいたします。

最後に、道が自ら行う取組についてでございますが、これまで取り組んで参りました節電・省エネ対策を踏まえて、執務室内の減灯や昼休みの消灯、OA機器の待機電力の削減、エレベーターの一部停止、ナチュラルクールビズの実践や庁舎内の冷房設定の管理など来庁者や職員に負担とならない範囲で取り組んでまいります。

以上、安定的な電力需給の確保に向け、引き続き全庁をあげた無理のない範囲での取組にご協力をお願いいたします。以上でございます。

【阿部副知事】

ありがとうございます。ただいまの説明に関しまして、何かご発言等ございますでしょうか。それでは、次に総務部から「防災対策について」説明をお願いします。

【橋本危機管理監】

危機管理監の橋本でございます。先月31日に開催をされました「北海道防災会議」の概要につきまして、お話をさせていただきます。

資料の3-1をご覧ください。本年度の防災会議では、「協議・報告事項」といたしまして、北海道地域防災計画の修正をはじめ、10月に実施予定の北海道防災総合訓練について決定をされました。また、(3)、(4)に書いてございますが、本年秋に実施予定の原子力防災訓練や山岳遭難防止対策などについて報告いたしましたところであります。また、「意見交換」の場におきましては、昨年度及び今年度における関係機関の取組につきまして、下段に記載のとおりご発言がありました。関係機関一堂、情報共有を図るとともに、オール北海道で、防災・減災対策に取り組んでいくことが確認されたところでございます。

今年度の防災訓練につきましては、資料3-2を開いていただきまして、その3にございますとおり、一昨年の大雨災害等を踏まえまして、十勝や上川など6つの振興局を会場に、広域の水害を想定し、河川における救助救出や物資輸送、避難所運営訓練などにつきまして、関係機関と連携して実施をする予定としております。会場となる振興局におかれましては、訓練を実施することとなります市町村や関係機関との調整などにつきまして、ご協力をよろしくお願いしたいと思います。また、資料にはございませんけれども、原子力防災訓練につきましては秋頃に意思決定訓練と実働訓練を連動させて実施をする予定としております。各部・関係振興局におかれましては、本部員会議あるいはオフサイトセンターへの災害対策要員の派遣、さらには実働訓練など様々な面で、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、資料3-3、資料3-4をご覧くださいませようをお願いいたします。各地域における防災の取組でございます。3-3には、市町村が取り組む防災訓練・防災研修の一覧を付けさせていただきます。資料3-4では、各小学校などで行う1日防災学校。各振興局それぞれの中で実施していただくことで現在準備を進めております。道内の地域防災力の強化に向けた今年度の取組といたしまして、企画から実施までを私どもサポートすることとしております。各振興局におきましても、ぜひご協力またはご参画をお願いをしたいと思います。

これから、本格的な梅雨や台風の時期を迎え、水害に対し細心の注意が必要となります。昨今は、「まさか」と思われるような、大規模な自然災害が頻発しており、昨年九州北部豪雨では、死者・行方不明者あわせて40名を超える方が犠牲となったことは記憶に新しいところであります。本道におきましても、一昨年はもとより、昨年も台風18号の影響により相当の被害が生じております。危機対策セクションでは、気象台など防災関係機関と連携し、いつでも災害に対応できるよう万全の備えに努めてまいりますが、関係部局・振興局におかれても、それぞれの立場で、「まさかの災害」に備えていただくようお願いいたします。以上でございます。

【阿部副知事】

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご発言等ございますでしょうか。それでは、最後の議題になりますが、釧路総合振興局から「北海道教育大学釧路校との防災教育の普及・啓発に関する覚書の締結について」説明をお願いいたします。

【海堀釧路総合振興局副局長】

副局長の海堀でございます。本日、局長が出張中のため、私の方から、今年の3月1日に北海道教育大学釧路校と締結をいたしました「防災教育の普及・啓発に関する覚書」について、ご報告させていただきます。

資料4をご覧ください。1の「背景等」でございますが、釧路地域につきましては、政府の地震調査委員会が発表した、千島海溝沿いの地震活動の長期評価において、巨大な津波をもたらす「超巨大地震」が切迫している可能性が高いとされ、地域における防災体制の強化が求められております。こうした中、釧路総合振興局では、これまで、地震・津波に際しては、自助・共助が重要でありますことから、地域住民に対し、避難所運営ゲーム北海道版の普及に取り組んでいるところでございますが、東日本大震災の経験から、教職員が果たした役割が重要であったことなどを踏まえ、教職員や若い世代に対する防災教育の充実が必要と考えておりました。

また、北海道教育大学釧路校といたしましては、卒業生の約7割が教員になっており、そのうち、約8割が、道東の沿岸部をはじめとする道内の学校で勤務しており、持続可能な社会を実現する上で、防災は切り離すことができない領域であり、教員を目指す学生に防災教育の充実を図りたいとのお考えでした。

次に、2の「連携・協力の効果」をご覧ください。こうした双方の共通した認識があり、お互いに連携・協力し、将来教員を目指す学生の皆さんに、防災教育の重要性や方法について、研修や体験を通じ

て学んでいただくことにより、教員として、子供達の防災意識を高めるなど、資料に記載の行動に繋が
り、地域における、持続的な防災力向上が期待されることから、覚書を締結し、協働して防災教育に取り
組むことといたしました。

3の「覚書の締結」をご覧ください。今回の覚書の特徴といたしましては、道としては初めてとなる
教員を目指す学生等と連携した防災教育に関する取組について締結したものであること。そして、道の
防災に関するノウハウを活用することで、継続的な学生の養成が、可能になることと考えております。

1枚めくっていただきますと、覚書の写しを添付してございますが、覚書の第1条「目的」では、『「S
DGs」の理念の下、持続可能な社会の実現を目指し、防災分野における地域防災力の向上と防災教育の
発展に寄与する人材育成を目的とする。』ことを明記いたしました。既に、地域住民を対象として実施
したDoはぐ研修に、学生の方にも参加していただくなど、協力事業を行っておりますが、この他にも
防災教育に関する様々な取り組みを、実施していくことを予定してございます。

今後は、管内の他の高等教育機関との防災教育に関する覚書の締結へと拡大していくことを検討して
まいりたいと考えております。以上でございます。

【阿部副知事】

ありがとうございます。この件に関しまして、何かご発言等ございますでしょうか。本日予定をして
いた議題は以上でございますが、この機会に発言があればお願いします。それでは最後に、知事から一
言お願いします。

【高橋知事】

お疲れ様でございます。各局お邪魔する際に、いつもお世話になっております。直近は、オホーツク
でしたか、蕎麦がとてもおいしかったです。ありがとうございました。

今日の議題について話をすれば、まず、創生総合戦略。5年間の推進期間の4年目ということであり
ます。それぞれのプロジェクト、事業についての進捗状況等の話もあったところでありますが、なかなか
目標達成が難しいようなものも項目としてあるところでございまして、引き続き、各部、各振興局力
を合わせてしっかりと取り組んでいかなければならない。こんな風に思う次第であります。出生率の改
善というのがなかなか難しい状況にあります。社会増減の方は少しずつ形になってきているところであ
りまして、私も結果を出している町をいくつか全道回らせていただいて地元の方々の工夫などのお話も
伺いをしたところでありますが、引き続き、道庁の最前線である各振興局長、幹部の方々におかれて
は、職員を指導していただいて、それぞれの市町村の実情をしっかりと把握しながら、共に取り組んでい
くことをよろしく願いをいたします。

2つ目は、節電についてであります。今年もそういう時期を迎えました。道が率先して節電、省エネ
に取り組むことも重要であります。対応方よろしく願いをいたします。

それから、防災対策、同じ防災関連で防災教育。釧路総合振興局からのご報告がございました。去年
も一昨年も「まさか」という災害が冬場も夏場もありました。今年も2月でしたか、そもそも雪の少な
い日高において暴風雪の結果、ビニールハウスが倒壊をした現場も拝見をさせていただいて、あれも「ま
さか」なんですね。雪が少ないところだから大丈夫だろうという思いの中で「まさか」が起こったと。
この「まさか」というのが、今年もこれから夏のシーズンを迎える中で、また我々も心の準備をしな
ければならない。こんな風に思う次第であります。そのような中で、釧路総合振興局におかれては、やは
り大地震のリスクであるとか、様々な災害についての大きなことを言われている中でありますので、し
っかりと地元の大学との連携などを踏まえて、地域住民の方々に対する教育の対応をやっていただけれ
ばと思う次第であります。

来週から、2定道議会がスタートいたします。補正予算の提出をし、JR問題をはじめとして様々な
道政上の課題について、林業大学校など、様々な議論を深めていきたいと思っています。そして、その
後、7月14日から北海道150年ウィークがスタートいたします。7月17日は「道みんなの日」、そ

して、8月5日には大きな記念式典を計画いたしているところでございます。北海道命名150年の節目を道民の皆様方とともに祝い、大いに盛り上げられるよう、各部局が力を合わせて対応するようよろしくお願いをいたします。私からは以上です。

【阿部副知事】

ありがとうございました。以上で本日の庁議を終了いたします。